

将来像		目標	具体的な取り組み		指標（進捗状況報告事項） ※○印は数値で示す指標	
河内長野市を支え続ける安心水道	安全	安全で安心できる水道	安全でおいしい水の供給	水質管理体制の強化	・水質管理体制の確立と強化	水質管理体制の強化に関する実施状況
					・給水末端における水質保全	○ 鉛製給水管率 = 鉛製給水管使用件数/給水管件数×100 (%)
					・水質基準改正への対応	○ 水質基準不適合率 = 水質基準不適合回数/全検査回数×100 (%)
					・小規模貯水槽の適正な維持管理の啓発を拡充	水質基準の改正に伴う実施状況
					・水安全計画の充実	貯水槽管理者への啓発の実施状況
				水道水源の保全	・森林保護施策の継続	水安全計画の見直し実施状況
	水道水源の安定化	・企業団第2分岐の導入と浄水施設の統廃合	森林づくり基金を活用した事業の実施状況			
	強靱	災害対策の強化	危機管理対策	・災害用備蓄品の確保と適切な管理	主要な災害用備蓄品の備蓄・管理状況	
				・事業継続計画（BCP）の充実	計画の見直しの実施状況	
				・他事業者や住民との災害時の対応訓練の実施	災害時対応訓練の実施状況	
		施設の更新・改良	基幹水道施設の耐震化	・浄配水施設などの基幹施設の耐震化	耐震診断の実施と結果	
				○ 配水施設の耐震化率 = 耐震対策の施された配水池有効容量/配水池等有効容量×100 (%)		
			管路の耐震化	・重要給水施設管路の耐震化	○ 重要給水施設配水管路の耐震管率 = (重要給水施設配水管路)耐震管延長/管路延長×100 (%)	
				・管路更新・耐震化を計画的に実施	○ 管路の耐震化率 = 耐震管延長/管路延長×100 (%)	
				○ 管路の更新延長 (m)		
				○ 管路の事故件数 (給水管を除く)		
		老朽化施設の更新	・機械設備および電気設備の更新	○ 法定耐用年数超過設備率 (市基準) = 法定耐用年数を越えている設備数/総設備数×100 (%)		
			・設備台帳の整備 (システム化)	設備台帳システム整備の実施状況		
			・設備修繕計画の見直し	○ 設備に起因する事故件数 (件/年)		
		持続	健全で効率的な事業を持続できる水道	事業経営の健全化	・ダウンサイジングの検討	管路・施設・設備の更新に併せたダウンサイジングの実施状況
					○ 有収率 = 年間有収水量/年間配水量 (%)	
○ 施設利用率 = 一日平均配水量/施設能力×100 (%)						
○ もしくは最大稼働率 = 一日最大配水量/施設能力×100 (%)						
・目標耐用年数の長期化	法定耐用年数に対する実耐用年数の状況					
・経営戦略の策定・適宜見直し	進捗管理と評価の実施					
○ 経常収支比率 = 経常収益/経常費用×100 (%)						
○ 料金回収率 = 供給単価/給水原価×100 (%)						
・アセットマネジメントの実践	水道施設整備計画・財政計画の見直しに向けた検討状況					
・水道料金体系の見直し	管路・施設・設備の更新に併せたダウンサイジングの実施状況					
○ 供給単価 (円/m ³)						
○ 給水原価 (円/m ³)						
組織運営の充実	・広域化の検討 (大阪広域水道企業団への統合による広域化)				大阪広域水道企業団への統合を含む広域化の検討状況	
	○ 研修時間 (時間)					
	○ 技術職員率 = 水道技術職員数/水道総職員数×100 (%)					
	・他都市等との人事交流の検討	他都市等との人事交流に関する実施状況				
お客さまサービスの向上	お客さまサービスの充実	・お客さまサービスの継続 (漏水調査・給水管修繕等)	包括的民間委託の実施状況			
		○ 職員一人当たり配水量 (m ³ /人)				
		○ 給水管の修繕件数 (件)				
環境対策	循環型社会への貢献	・広報活動の充実	お客様サービスに関する取り組み内容			
		・再生可能エネルギーの利用	ホームページの更新頻度 (1回/月)			
		○ 配水量1m ³ 当たりの電力消費量 (kWh/m ³)				
・設備の更新による省エネルギー化	広報活動に関する取り組み内容					
○ 設備の更新・省エネルギー化に関する取り組み内容						

将来像		目標	具体的な取り組み		指標（進捗状況報告事項） ※○印は数値で示す指標	
河内長野市を支え続ける安心下水道	快適な生活環境	快適な生活環境を提供する下水道	汚水処理整備率の向上	汚水管渠の整備	・下水道未普及地域の整備を促進	○ 汚水処理人口普及率 = 下水道整備済区域内人口及び下水道整備済区域外の合併浄化槽整備人口 / 行政区域内人口 × 100 (%)
				浄化槽の整備	・市設置型浄化槽の整備を促進	○ 汚水処理手法の見直しに向けた検討状況
			下水道人口普及率 = 下水道整備済人口 / 行政区域内人口 × 100 (%)			
	安全・安心	安全で安心な下水道	施設の更新・改良	施設の改築更新	・老朽化管路（雨水・汚水）の改築・更新を計画的に実施	○ スtockマネジメント計画の見直しに向けた検討状況
					・機械設備および電気設備の改築・更新を計画的に実施	○ 管路改築・更新延長 (m)
				○ 本管破損による道路陥没発生箇所数 (箇所)		
			○ 取付管破損による道路陥没発生箇所数 (箇所)			
			○ 滝畑浄化センターにおける処理水質未達成回数 (回)			
			○ ポンプ施設の故障に起因する汚水溢水回数 (回)			
			○ 管路耐震化率 = 耐震化管路延長 / 下水道布設延長 × 100 (%)			
			浸水対策	・内水ハザードマップの作成から活用	○ 浸水の恐れのある区域における施設点検	
				・既存施設を活用した雨水管路の整備	○ 浸水・道路冠水の発生件数 (件)	
			災害対策の強化	危機管理対策	・事業継続計画 (BCP)の充実	○ 計画の見直しの実施状況
	・災害時における復旧支援協力に関する協定締結	○ 協定締結状況				
	・他事業者や住民との災害時の対応訓練の実施	○ 災害時対応訓練の実施状況				
	安定・経営基盤の強化	健全で効率的な事業を持続できる下水道	事業運営の健全化	未水洗家屋の解消	○ 戸別啓発件数 (件)	
					○ 水洗化率 = 下水道接続人口 / 下水道処理区域内人口 × 100 (%)	
				経営健全化	・経営戦略の策定・適宜見直し	○ 進捗管理と評価の実施
					・アセットマネジメントの実践	○ 経常収支比率 = 経常収益 / 経常費用 × 100 (%)
					○ 経費回収率 = 下水道使用料 / 汚水処理費 (公費負担分除く) × 100 (%)	
				組織運営の充実	・下水道使用料体系の見直し	○ スtockマネジメント計画・財政計画の見直しに向けた検討状況
					・不明水対策による不明水量の低減	○ 下水道使用料体系の見直しに関する検討状況
			・業務に精通した職員の育成・技術継承		○ 使用料単価 (円/m³)	
			○ 汚水処理原価 (円/m³)			
			お客様サービスの向上	お客様サービスの向上	・水洗便所改造工事資金援助制度の継続	○ 管路調査対象延長 (km)
					・排水設備雨水誤接続に係る支援制度の検討	○ 排水設備雨水誤接続調査件数 (件)
			環境対策	循環型社会への貢献	再生可能エネルギーの利用	○ 研修時間 (時間)
○ 技術職員率 = 下水道技術職員数 / 下水道総職員数 × 100 (%)						
・設備の更新による省エネルギー化					○ 他都市等との人事交流に関する実施状況	
○ 広域化の検討状況						
○ アウトソーシングの継続と拡充 (包括的民間委託の充実)	○ 包括的民間委託に関する取り組み状況					
○ 職員一人当たり処理区域人口 (人)						
○ 援助制度等利用件数						
○ 支援制度の検討状況						
○ ホームページの更新頻度 (1回/月)						
○ 広報活動に関する取り組み内容						
○ 再生可能エネルギーの利用に関する取り組み内容						
○ 有収水量当たりの電力消費量 (kWh/m³)						
○ 設備の更新・省エネルギー化に関する取り組み内容						